

訂正箇所及び内容

提案書様式2について、内容に一部誤りがあったため以下のとおり訂正する。

○訂正箇所

<様式2 研究内容説明書>

誤	正
<p>8 その他</p> <p>※基本計画書において、「6. その他 特記事項」で課せられている条件に対し、各々の条件が満たされていることが分かるよう、項目毎に明確に記載してください。</p> <p>(1) 特記事項</p> <p>(2) 提案及び研究開発に当たっての留意点</p> <p>(3) 人材の確保・育成への配慮</p> <p>(4) 研究結果成果の情報発信</p> <p>(5) その他</p> <p>※その他、実用化への波及、標準化への取組等、アピールすべき点等を記載してください。</p>	<p>8 その他</p> <p>※上記のほか、国際標準化活動、次代を担う理工系分野の人材育成に資する取組など、アピールすべき点があれば、自由に記入してください。</p>

研究課題：

研究内容説明書

1 成果目標

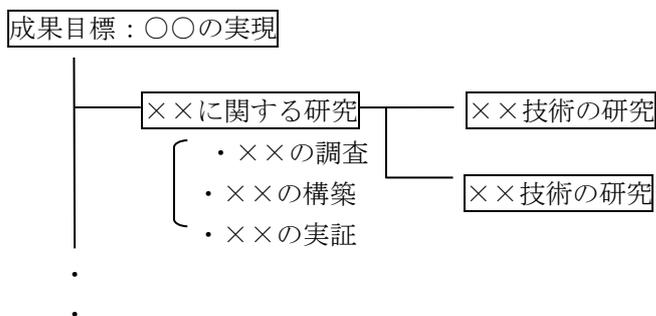
※ 当該研究課題の基本計画書における「目標（アウトカム目標、アウトプット目標、到達目標）」を達成するため、独自に設定したより詳細な数値目標等の最終的な研究の成果を記載してください。特に、提案する研究内容が優れている点を具体的に説明してください。

2 研究内容

(1) 研究体系

※ 研究体系について、樹形図を用いる等分かりやすく記載してください。

(例)



(2) 手法

※ 研究の手法について、上記の研究体系に従い、詳細かつ具体的に記載してください。特に、上記の成果目標を達成するに当たって、提案する手法が優れている点（有効性、効率性等）を具体的に説明してください。

※ 提案する手法について、どのような技術的な課題があるのかを記載してください。

※ 研究の実施に当たって、他の研究の進捗が必要である等の技術的な前提がある場合には、その研究との関係についても記載してください。

(例)

- ア) ××に関する研究
- ・本研究は、…
 - ・××を実現するには、…
 - ・技術的な前提として、…
- イ) △△に関する研究
- ・
- ・

3 到達目標（アウトカム目標）の達成に向けた取組

※ 基本計画書において定める到達目標（アウトカム目標）の達成に向けた取組として、実効的な取組計画（標準化活動、体制、資金等）等について、具体的に記載してください。また、線表を用いて年度ごとの取組内容も説明してください。

※ 到達目標の達成度を定量的に測るためのアウトカム指標を提案してください。

また、提案するアウトカム指標が政策目標の達成にどのように貢献するかについて、具体的に記載

してください。

- ※ なお、到達目標（アウトカム目標）の達成に向けた取組状況や実績については、研究が終了した翌年度以降もフォローアップを行い、随時報告を求めます。

4 自社研究との区分

- ※ 本研究を受託した後も並行して自主研究を続ける場合には、その研究開発の概要、目標等を明らかにし、提案する研究開発と明確に区別できることを説明してください。

5 論文等に関する目標

年度 目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	実施期間 終了後	合計
査読付き誌上 発表論文数	件 (件)	件 (件)	件 (件)				
査読付き口頭 発表論文数 (印刷物を含む。)	件 (件)	件 (件)	件 (件)				
その他の 誌上发表数	件 (件)	件 (件)	件 (件)				
口頭発表数	件 (件)	件 (件)	件 (件)				
報道発表数	件 (件)	件 (件)	件 (件)				

- ※ 「査読付き誌上发表論文数」には、定期的に刊行される論文誌や学会誌等、査読（peer-review（論文投稿先の学会等で選出された当該分野の専門家である査読員により、当該論文の採録又は入選等の可否が新規性、信頼性、論理性等の観点より判定されたもの）のある出版物に掲載された論文等（小論文、研究速報、レター等を含む。）を計上してください。
- ※ 「査読付き口頭発表論文数（印刷物を含む。）」には、学会の大会や研究会、国際会議等における口頭発表又はポスター発表のための査読のある資料集（電子媒体を含む。）に掲載された論文等（ICC、ECOC、OFC等、Conference、Workshop、Symposium等でのproceedingsに掲載された論文形式のもの等とする。ただし、発表用のスライド等は含まない。）を計上してください。口頭発表又はポスター発表のための査読のない資料集に掲載された論文等（電子情報通信学会技術研究報告等）は、「口頭発表数」に分類してください。
- ※ 「その他の誌上发表数」には、専門誌、業界誌、機関誌、プロシーディング論文等、査読のない出版物に掲載された記事等（査読の有無に関わらず企業、公的研究機関及び大学等における紀要論文や技報を含む）を計上してください。
- ※ 同一の論文等は複数項目に計上しないでください。例えば、同一の論文等を「査読付き口頭発表論文数（印刷物を含む。）」及び「口頭発表数」のそれぞれに計上しないでください。
- ※ 0件の場合も記入してください。
- ※ 括弧内には、海外における取組分を内数として記入してください。

6 波及効果

※ 基本計画書に記載されている目的を超える新規性、独創性、他の研究への発展性等、提案する手法等が有する優れた点を記載してください。

7 類似の研究開発の実績

※ 提案する研究の一部又は全部について類似の研究を先行的に行っている場合、過去に行った経験のある場合等には、提案する成果目標等との関連を示しつつ、その実施状況・結果を具体的に記載してください。また、対外発表を行ったことがある場合には、その内容、発表先、発表者等を一覧表の形で示してください。

8 その他

~~※ 基本計画書において、「6. その他 特記事項」で課せられている条件に対し、各々の条件が満たされていることが分かるよう、項目毎に明確に記載してください。~~

~~-(1) 特記事項~~

~~-(2) 提案及び研究開発に当たっての留意点~~

~~-(3) 人材の確保・育成への配慮~~

~~-(4) 研究結果成果の情報発信~~

~~-(5) その他~~

~~※ その他、実用化への波及、標準化への取組等、アピールすべき点等を記載してください。~~

※ 上記のほか、国際標準化活動、次代を担う理工系分野の人材育成に資する取組など、アピールすべき点があれば、自由に記入してください。

注) 枚数に制限はありません。また、必要な場合には補足説明図 (A4 判) 等を添付してください。